

国際協力機構 東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクトフェーズ2

派遣先：東ティモール民主共和国

東ティモール国立大学

派遣期間：平成 29 年 3 月 20 日(月)～3 月 29 日(水)

技術職員：1 名

活動内容：旋盤の精度調整方法指導

(X 軸ズレの調整, レベル調整等)



今回の派遣における目的は旋盤の精度調整を行うだけでなく、現地のスタッフだけで作業を行えるよう指導することである。精度調整は繊細な作業なので、細かく丁寧に説明を行った。

はじめて機械工学科の技官を指導したが、経験は浅いものの、非常に意欲的で積極的に調整作業に取り組んでくれた。今後の成長が期待できる人材である。



X 軸ズレの修正は微調整の繰返しなので、まず作業の手本を見せる、適宜フォローしながらも実際に作業を行ってもらい、自分たちだけで作業してもらう、というように段階的な指導を行った。

苦勞しながらも、無事に調整作業が完了した。作業終了後、作業内容について質疑応答を行い、さらに理解を深めてもらった。

東ティモール国立大学能力向上プロジェクトフェーズ2では、社会貢献しうる優秀な産業人材を輩出するべく工学部の能力強化を目的としている。その中でも機材の維持運営管理に対する取組みは重要であり、今回の指導はその支援の一環である。旋盤の精度調整は作業頻度が低く、知識として定着することが難しいため、作業内容を技官がノートに記録し、それを簡易的にマニュアル化した。今後は技官がそのマニュアルをもとに、機械工学科のスタッフ間で技能伝承が行えるようになることが期待される。

